

AiSTI 製品ラインナップ

装置

No.	製品名 / 機種	型番
1	SGI-P100 SPE-GC インターフェース&前処理部	PA-6030-000
2	GC 大量注入装置 / LVI-S250	LA-6011-250

消耗品

No.	製品名	型番
3	固相カートリッジ Flash-SPE C18	SA-4110-003
4	固相カートリッジ Flash-SPE BEP	SA-4410-005
5	固相カートリッジ Flash-SPE HLB	SA-4561-003
6	スパイラルインサート 中 100 μ L 10 本入	LA-5010-124

付属品

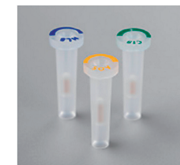
No.	製品名	型番
7	水質分析用 SGI-P100 メソッド	—
8	水質分析用 前処理および SGI-P100 操作マニュアル	—



SGI-P100



LVI-S250



Flash-SPE



スパイラル
インサート

Agilent 製品ラインナップ

装置

No.	製品名 / 機種	型番
1	ガスクロマトグラフ / Agilent 7890B	—
2	トリプル四重極型質量分析装置 / Agilent 7000D	—

消耗品

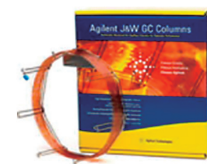
No.	製品名	型番
3	キャピラリーカラム VF-5ms 30m \times 0.25mm, d.f.0.25 μ m	CP8944

付属品

No.	製品名	型番
4	Intelligent MRM 使用マニュアル	—



Agilent 7890B/7000D



VF-5ms

製品に対するお問い合わせは各メーカーまでご連絡ください。

株式会社アイスティサイエンス
TEL 073-475-0033 FAX 073-497-5011
www.aisti.co.jp

アジレント・テクノロジー株式会社
フリーダイヤル ☎0120-477-111
www.agilent.com/chem/jp

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

Printed in Japan. November 1, 2017

AS AiSTI SCIENCE

Agilent
Trusted Answers

Agilent
Trusted Answers

AiSTI SCIENCE - Agilent Technologies 水質分析用ソリューションパッケージ

オンライン SPE-GC/MS システム



AS AiSTI SCIENCE

アイスティサイエンスとアジレント・テクノロジーの SGI-P100 搭載メソッドと Intelligent MRM データベースによる「オンライン固相抽出法」ソリューションパッケージ

従来は大量の試料を採取し、濃縮操作や脱水に時間がかかり、直ぐに結果がでない、誘導体化が不安定で面倒…分析メソッドの作成が大変、解析条件の作成が面倒、測定項目が多くて解析に時間がかかる…アイスティサイエンス&アジレント・テクノロジーのソリューションパッケージが従来の問題や悩みを解決します。

オンライン固相抽出法

- 迅速化：10 分!
- 自動化：再現性の向上
- 簡易化：生産性の向上

1. 測定メソッドの作成

Intelligent MRM (エクセルファイル) による測定・定量メソッドの自動作成

メソッド作成手順 (Excel 内で作業)

- ① 混合溶液の選択
- ② GC 条件を選択
- ③ 測定トランジション数を選択
- ④ ウィザードに従って作成
- ⑤ 検量線の作成



2. 検水のセット



① バイアルに検水を入れ サンプルトレイにセット



② トレーに Flash-SPE を並べる

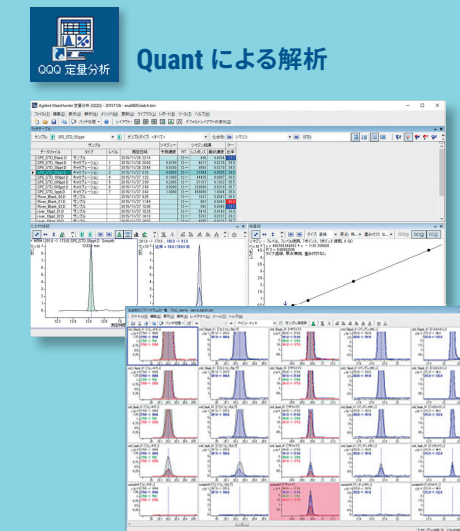
3. 自動前処理・測定



水質分析用 SPE-GC/MS システム

- SPE-GC システム：SGI-P100 (アイスティサイエンス)
- トリプル四重極 GC/MS (アジレント・テクノロジー)

4. 解析



解析ソフト：Agilent MassHunter

▶ 前処理メソッド / 測定・解析メソッド / ライブラリ

一般的な分析項目

- シマジン・チオベンカルブ
- 水中農薬
- ゴルフ場農薬
- ノニルフェノール
- クロロフェノール類
- ビスフェノール-A

それぞれの分析項目に応じた前処理メソッド、測定・解析メソッド、ライブラリをご提供します。



農業

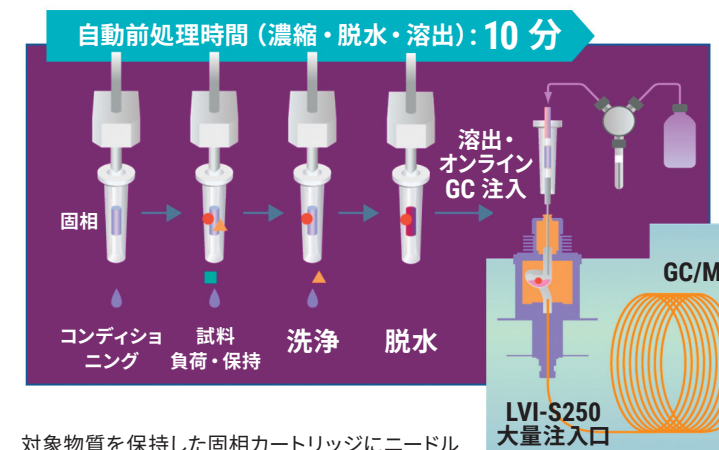
Intelligent MRM データベース (農業) により簡単に測定・解析メソッドが自動で作成できます。

成分名	分子量	RT	MS1	MS2	MS3	MS4	MS5	MS6	MS7	MS8	MS9	MS10	MS11	MS12	MS13	MS14	MS15	MS16	MS17	MS18	MS19	MS20	MS21	MS22	MS23	MS24	MS25	MS26	MS27	MS28	MS29	MS30	MS31	MS32	MS33	MS34	MS35	MS36	MS37	MS38	MS39	MS40	MS41	MS42	MS43	MS44	MS45	MS46	MS47	MS48	MS49	MS50
シマジン	250.0	12.5	250.0	100.0	150.0	200.0	250.0	300.0	350.0	400.0	450.0	500.0	550.0	600.0	650.0	700.0	750.0	800.0	850.0	900.0	950.0	1000.0	1050.0	1100.0	1150.0	1200.0	1250.0	1300.0	1350.0	1400.0	1450.0	1500.0	1550.0	1600.0	1650.0	1700.0	1750.0	1800.0	1850.0	1900.0	1950.0	2000.0	2050.0	2100.0	2150.0	2200.0	2250.0	2300.0	2350.0	2400.0	2450.0	2500.0

オンラインシステムの分析条件搭載済

- 680 成分以上の農業のトランジション登録
- 市販の混合標準溶液に対応
- 内標準物質や、サロゲート物質の登録
- 混合溶液に登録のない農業も多数登録
- オンライン SPE-GC 用条件、RT の収載

▶ オンライン固相抽出法 (SGI-P100)

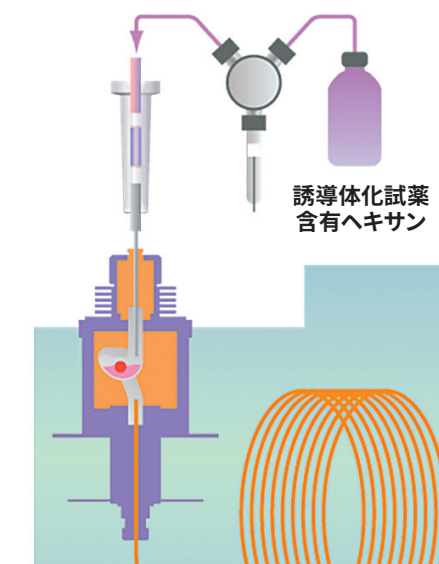


対象物質を保持した固相カートリッジにニードルを自動で装着して溶出しながら直接 GC へ全量注入します。

オンライン SPE-GC/MS システムに試料をセットさえすれば、前処理から測定まで「完全」な自動分析が可能となります。本システムでは試料を少量化し、人による作業工程を省くことができ、短時間で精度よい分析が可能になります。

WEB サイトにて「オンライン固相誘導体化法」を公開中!
<http://www.aisti.co.jp/product/spe-gc/> URL 内の「動画」をクリック!

▶ 誘導体化注入法



本システムで、溶出させる溶媒に誘導体化試薬を含有させることで、胃袋型インサート内で 70 °C の温度で濃縮しながら速やかに誘導体化されます。また、誘導体化して直ぐに分析するため、誘導体化後の分解などの不安定な要因がなく、安定した精度の良い結果を得られます。